



9月に入りましたが暑い日が続いています。園では熱中症の危険を知らせる“熱中症アラーム”を使用して、予防を行っています。早く涼しい季節が来て、外で元気いっぱい体を動かしたいです。9月9日は救急の日です。靴を脱いで床や畳で生活し子どもの手の届くところに物が置かれていることが多い日本は、家庭用品の誤飲の事故が米国の3~4倍だと言われています。特に0~3歳児までは、何でも口に入れてしまうので、手の届くところに置かないようにしましょう。万一誤飲してしまったら、落ち着いて素早く対処しましょう。

誤飲の応急処置

- ① まずは、周囲を見て誤飲したものを確認する。
 - ・何を飲んだか
 - ・量はどれくらいか
- ② 口の中に残った物があれば指でかき出す。
*スーパーボールやミニトマトなどは、見えているからと取ろうとすると奥へ押し込んでしまう恐れがあるので注意。
急いで受診を・・・必ず飲み込んだ物、あるいは飲み込んだ物と同じ物を病院へ持参しましょう。

こんな時はすぐに救急車を！！

- 呼吸困難を起こしている。
- 顔色が真っ白になっている。
- けいれんを起こしている。
- 意識がない。

《指でかき出せない場合は
この方法で取りましょう》



よく誤飲・誤嚥されるもの

★ボタン電池

機器から取り出して誤飲

- 音の鳴るおもちゃ ●体温計 ●車のキー ●ペンライト
- キッチンタイマー ●ゲーム機 など



★磁石

★鋭利な異物・・・ガラス、ヘアピン、カッターの刃など

★たばこ

★薬・・・病院に行った時は、何の薬を飲んだか伝えましょう。

★洗剤

- ・トイレ用洗剤（トイレ用スタンプ洗剤など）
- ・漂白剤、防虫剤、灯油、マニキュアおよび除光液などは特に危険。最近は、パック型液体洗剤も。

★吸水性樹脂・・・観葉植物などで使用する水で膨らむ樹脂、芳香剤、消臭剤

水などの液体を含むと膨張します。胃や腸などで膨張してとどまり、嘔吐・腹痛を起こし、悪化すると腸閉塞になります。吸水性樹脂の製品はレントゲンには写らないので保管には十分注意しましょう。

★コインやおもちゃ等

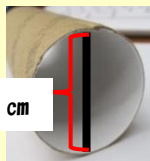
- ・ブロック、スーパーボール、プラスチックなど

*電池、鉄製品、硬貨、磁石などは胃酸で溶けて有害物質を吸収するので注意！！

予防のポイント

1. 誤飲するサイズは、トイレットペーパーの芯を目安にしましょう。
2. 小さな生活用品は手の届かない高さに置きましょう。
3. 4cm以下のおもちゃは、飲み込む恐れがあるので4歳頃まで控えましょう。
4. 食材は年齢に応じて噛み切れる大きさにしましょう。
5. 異物を口に入れているのを発見した時には大声を出さないようにしましょう。

4 cm



*異物を口に入れているのを発見したときは、発見者が大声を出して慌てたり叱ってしまうと、子どもがビックリしたり泣き出したり飲み込んでしまうことがあるので、慌てず優しく口から出させる。

3歳以下は食べさせない or 小さく刻む

ピーナッツ、枝豆、キャンディー、だんご、こんにやくゼリー、お餅・白玉だんご、グミなど

10月からインフルエンザワクチン接種が始まります

小児科によっては予約が必要な場合があります。かかりつけ医にワクチン接種の予約についての確認をお願い致します。インフルエンザの予防の第一はワクチン接種です。今年も、新型コロナウイルスの感染拡大の懸念があるため、予防接種を受ける方が多いと予想されます。インフルエンザと新型コロナウイルスを同時に感染すると、呼吸困難、気管支炎、肺炎などの呼吸器疾患となり、悪化すると死亡する危険性があります。インフルエンザの感染予防や症状の悪化を防ぐためにワクチン接種をお願い致します。